

きゅうりのべと病の発生が多い

～防除の徹底で被害拡大を防止しましょう～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

7月前半に行った露地きゅうり巡回調査(20地点)におけるべと病の発病株率は14.1%(平成2.8%)、発病地点率は50.0%(平成21.5%)でいずれも高かった(図-1、2)。

7月13日に仙台管区気象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の降水量は平成並か多いと予報されている。

以上のことから、今後も発病に好適な条件が続くと予想され、べと病の増加が懸念される。このため、本病の防除対策を徹底する必要がある。

2. 防除対策

- 1) 草勢が衰えると発病しやすくなるので、適期収穫による着果負担の軽減や適正な追肥により草勢の維持に努める。
- 2) 多湿条件で発病しやすくなるので、整枝・摘葉を適切に行い風通しを良くする。また、施設栽培では十分な換気を行う。
- 3) 発病葉(図-3)は早めに除去し、ほ場外で処分する。特に、発病が進んだ葉を優先的に除去する。
- 4) 発病前からの薬剤防除に努める。発病が見られる場合は、治療効果がある薬剤(リドミルゴールドMZ、ゾーベックエニベル顆粒水和剤、ベトファイター顆粒水和剤、アミスター20フロアブル、ホライズンドライフロアブル等)を散布する(表-1)。また、降雨が続く場合や病勢の進展が激しい場合は、薬剤の散布間隔を短くする。
- 5) RACコードが4、11、21、40、49の薬剤は、耐性菌の出現を回避するため連用しない。

3. 資料

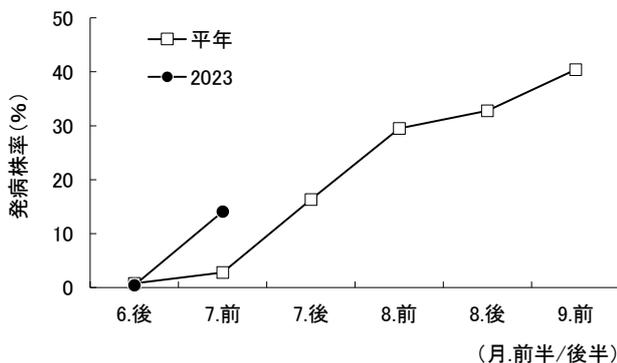


図-1 巡回調査における発病株率の推移

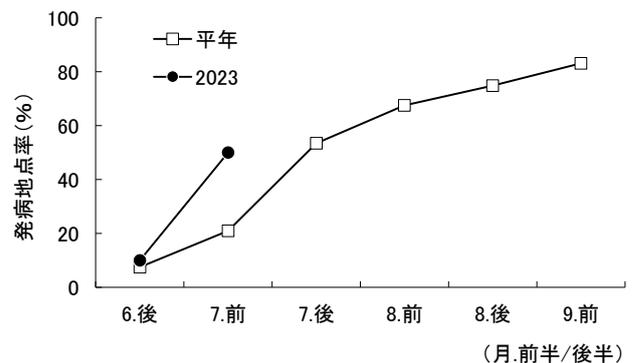


図-2 巡回調査における発病地点率の推移



図-3 べと病の発病葉

表-1 きゅうりのべと病に収穫前日まで使用できる防除薬剤

RACコード	農薬名	希釈倍数又は使用量	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
11	アミスター20フロアブル	1,500~2,000倍	4回以内	4回以内
P7	アリエッティ水和剤	400~800倍	3回以内	3回以内
22	エトフィンフロアブル	1,000倍	4回以内	4回以内
M4	オーソサイド水和剤80	600倍	5回以内	ア
24・M1	カスミンボルドー 銅シン水和剤	1,000倍	5回以内	イエ
M1	キノドール水和剤40	800倍	5回以内	ウ
M1	サンヨール	500倍	4回以内	4回以内
M1・M5	シトラノフロアブル	1,000~1,200倍	5回以内	ウオ
M3	ジマンダイセン水和剤	600~800倍	3回以内	キ
M1・2	スクレタン水和剤	500倍	6回以内	イク
49・M3	ゾーベック エニベル 顆粒水和剤	750倍	2回以内	キソ
M5	ダコニール粉剤	3~4kg/10a	8回以内	オ
M5	ダコニール1000	1,000倍	12回以内	オ
21・M5	ドーシャスフロアブル	1,000倍	4回以内	オコ
40・M1	フェスティバルC水和剤	600~800倍	3回以内	イケ
27・40	ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	3回以内	サセ
M7・M1	ペブドール水和剤	500倍	7回以内	イカ
M3	ペンコゼブ水和剤	600~800倍	3回以内	キ
27・11	ホライズンドライフロアブル	2,500倍	3回以内	サシ
M1	ヨネボン	500倍	4回以内	4回以内
21	ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	4回以内	コ
4・M3	リドミルゴールドMZ	1,000倍	3回以内	キス

※同一符号は同一成分が含まれていることを示す。()内は各成分の総使用回数を示す。

ア:キャプタン(5回以内(種子粉衣は1回以内)) イ:銅(—) ウ:有機銅(5回以内)

エ:カスガマイシン(5回以内) オ:TPN(14回以内(土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計12回以内))

カ:イミノクタジン(7回以内) キ:マンゼブ(3回以内) ク:プロシミドン(6回以内(常温煙霧は2回以内))

ケ:ジメトモルフ(3回以内) コ:シアゾファミド(4回以内)

サ:シモキサニル(3回以内) シ:ファモキサドン(3回以内)

ス:メタラキシル及びメタラキシルM(4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内))

セ:ベンチアバリアルブイソプロピル(3回以内) ソ:オキサチアピプロリン(2回以内)

【注意事項】

アミスター20フロアブルは浸透性を高める展着剤を加用しない。また、高温時の使用を避ける。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>